



桜援団

令和6年10月3日

第779号

文責 教頭 釜屋雄一

第13回ふれあいフェスティバルに向けて その1

生徒たちは、ふれあいフェスティバルに向けて、着々と準備を進めています。今年の校内テーマは「彩 一輝く・届ける・創るー」です。このテーマを実現するため、各学年部や特別支援部ではこれまでの学びを生かしつつ、さらに発展させていく活動をしています。その活動の一端を、以下に紹介します。

特別支援部の活動の一部を紹介します

特別支援部では、ペットボトルキャップを効果的に活用するSDGsの取り組みとして、生活を「彩る」アクセサリー作りを進めています。まず、ペットボトルキャップを集め、同じ色のキャップごとに仕分けをします。続いて、ペットボトルキャップをニッパーで細かく切り、ペレットにします。クッキングシートの上にアクセサリー枠を置いて、作りたいイメージの色のペレットを選んで盛りつけます。クッキングシートを折り返してアクセサリー枠の上にかぶせ、その上からアイロンで押さえます。枠からはみ出した余分なペレットをきれいにはがします。表裏それぞれ、表面がきれいになるようにペレットを加えたり、アイロンで加熱したり、余分なペレットをはがしたり、を繰り返します。納得のいくデザインに仕上がったら、ゆっくり冷まして、マニキュアでコーティングします。



生徒たちは、始業までの時間や休憩時間も効果的に使って、作品作りに熱中しています。「美しいアクセサリーをたくさん作って、ふれあいフェスティバルで一人でも多くの人に手に取ってもらいたい」と願っている生徒たちです。

